

プレセット形トルクレンチ

要保管

製品番号

差込角 9.5mm T3HC30 T3HC30K

差込角 12.7mm T4HC140

取扱説明書 No. 2209



- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みいただき、理解していただいた上でご使用ください。
- 取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。

TONE株式会社ご使用上の注意
・・・
1～5内
容
品
・・・
6ご使用方法
各部の名称
・・・
6～9校正証明書の有効期限
修理・点検
・・・
9参
考
資
料
・・・
10

このたびは「TONE プレセット形トルクレンチ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本製品は、ボルト・ナット類の締付け専用のトルクレンチです。
- 同一トルク値での繰り返し作業が可能なトルクレンチです。
- あらかじめ設定したトルク値に達しますと『カチッ』という音、または手に軽い『ショック』でお知らせします。




- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みください。
- お読みになられた後は、いつでも読めるように大切に保管してください。
- 万一、取扱説明書を紛失、汚損された場合、または保管用として別途、取扱説明書をご入用の方は、弊社までお申し付けください。

お買い求めの製品や取扱説明書の内容について、不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までにお問い合わせください。

注意文の警告マークについて

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

- 説明内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下での表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容のご注意。
 警告	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

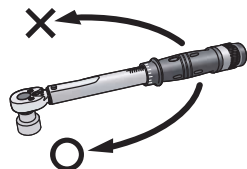
尚、**△注意**に区分した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■この製品は、ボルト・ナットの締付け専用のプレセット形トルクレンチです。
この目的以外の作業には使用しないでください。

警告

●右回転（時計回り）方向
でご使用ください。

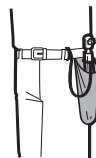
○本製品は締付け専用のトルク
レンチです。緩め作業に
は、トルクレンチを使用し
ないでください。



トルクレンチの破損や、けがの原因になります。

●高所作業では必ず落下
防止の処置をしてくだ
さい。

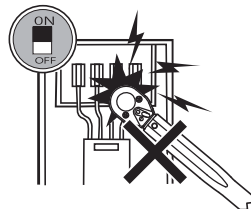
○作業の下に、人がいないこと
を確認し、作業してください。



トルクレンチやソケットが
落下したときに、けがの原因になります。

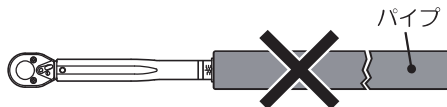
●通電中の作業はしない
でください。

○絶縁された製品ではありません。
作業をする場合、感電事故
などの防止のために必ず元
の電源を遮断してください。



感電事故の原因になります。

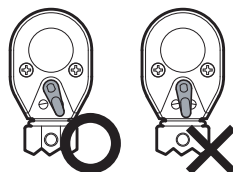
●パイプを差し込んで使
用しないでください。



トルクレンチの破損や、けがの原因になります。

●切替レバーを確実に切
替えてください。

○ラチェット部の切替レバー
が中途半端ですと、ラチェ
ット機構のかみ合わせが悪
く、力を加えたときに外れ
ます。



トルクレンチが破損し、けがの原因になります。

●ハンドル部および手に
油・グリスなどがつい
たまま作業しないで
ください。

○作業するときは、ハンドル部および手についている油類を拭
き取って滑らないことを確認してから作業をしてください。

作業中に手が滑り、事故やけがの原因になります。

⚠ 警告

- 長期間放置したトルクレンチは、トルク値が変動する場合があります。

○使用するときは、改めて「点検」してください。

ナットの締め過ぎ、締め不足の原因になります。

⚠ 注意

- 能力範囲内で値を変更してください。

○能力範囲を超えて目盛が動きますが、機構上の「遊び」です。

能力範囲を超えて目盛を動かすと内部の機構が噛み込んで、目盛が変更できなくなり、レンチが故障します。

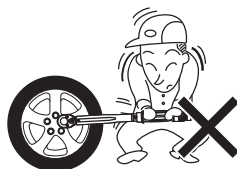
- 能力範囲の最大トルク以上の負荷をかけないでください。

○能力範囲内でご使用ください。

過大負荷となり故障・けがの原因になります。

- 力をかける時は、ゆっくりとかけてください。弾み等をつけるとクリック後に力が入って過剰な締め付けになり正しいトルクが出ません。

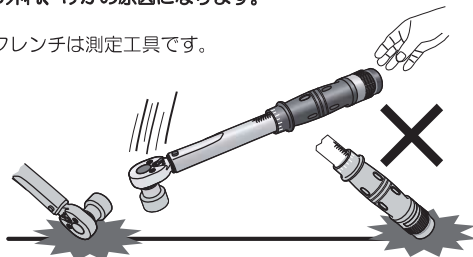
○トルクレンチを使用するときは、弾みをつけたり、体重をかけたり、足で踏みつけないでください。



正しいトルクが出ません。レンチの破損、ナットからの外れ、けがの原因になります。

- ラチェットハンドルやハンマー代わりに使用したり、その他、放り投げるなど、乱暴に取り扱わないでください。

○トルクレンチは測定工具です。



トルク精度の異常、破損、けがの原因になります。

- 水中、海中、多湿、高低温、油や薬品、溶剤に触れるような環境下で使用しないでください。

○本トルクレンチは左記の環境下には対応していません。液体や異物などがケース内部に入り込み、サビの発生、機能の低下につながり、本来の性能が発揮できなくなります。

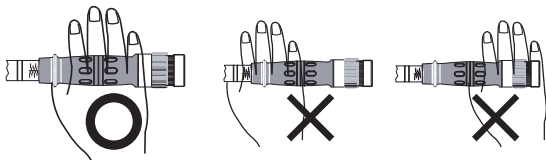


トルク精度の異常、破損、けがの原因になります。

⚠ 注意

- グリップの中心部を握ってください。

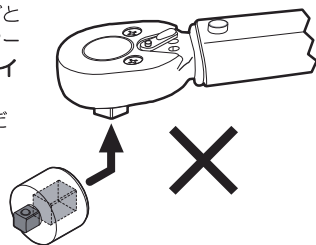
○握る位置により、トルクの値が変わります。



正しいトルクが出ません。

- アダプターを使用しないでください。

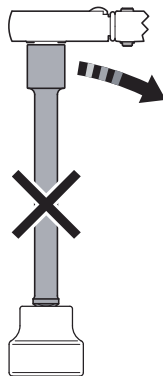
○トルクレンチの角ドライブとソケットとの間にアダプター（トルクレンチの角ドライブより小さいタイプ）を接続して使用しないでください。



アダプターの角ドライブが破損し、けがの原因になります。

- エクステンションバーを使用しないでください。

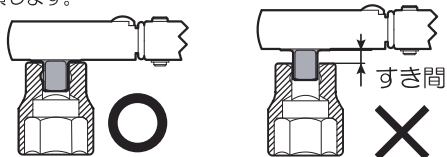
○トルクレンチの角ドライブとソケットとの間にエクステンションバーを接続して使用しないでください。特に全長の長いエクステンションバーは作業中に倒れ込んだりして大変危険です。



エクステンションバーの破損、トルクの変動の原因になります。正しいトルクが出ません。

- 角ドライブは根元まで差し込んでください。

○中途半端な差し込みですと、規格以下で角ドライブが破損します。



角ドライブが破損し、けがの原因になります。正しいトルクが出ません。

⚠ 注意

●使用前に数回慣らしのテスト締付けをしてください。

●分解、改造をしないでください。

●立てて置かないでください。

●作業場の床面は、いつもきれいに保ってください。

●使用後は最小目盛に設定し、汚れを取り除き保管用袋に収納の上、所定の場所に保管してください。

○作業のはじめの数回はトルクが安定しません。

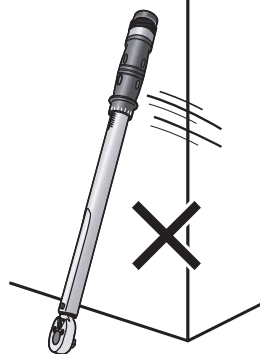
トルクがばらつく原因になります。



分解禁止

トルクの異常、故障・けがの原因になります。

○トルクレンチを作業中、機械や壁などに立てかけたりすると倒れます。

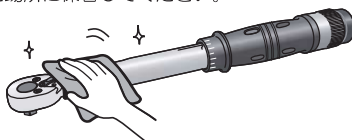


けがの原因になります。

○油などで床面が濡れていますと滑ります。

けがの原因になります。

○使用後は、故障、精度不良、サビなどの原因となるゴミ、ほこり、泥、油、水分などの汚れを取り除き、ヘッド部に薄く防錆油を塗布の上、付属の収納具に収納して、乾燥した場所に保管してください。



トルクの異常、故障・けがの原因になります。

内容品



- トルクレンチ本体
- 保管用収納具

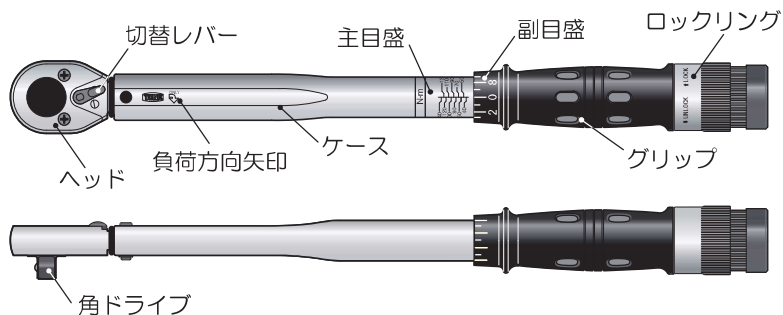


●校正証明書



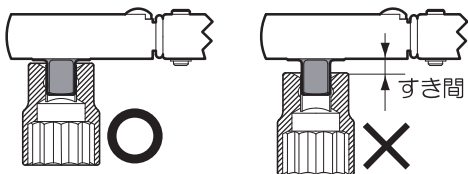
●取扱説明書

各部の名称

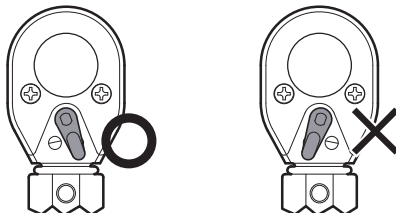


ご使用方法

- ①ご使用になるソケットをトルクレンチの角ドライブの根元まで差し込んでください。



- ②ラチェットヘッドの切替レバーが右図の位置にあるか確認してください。



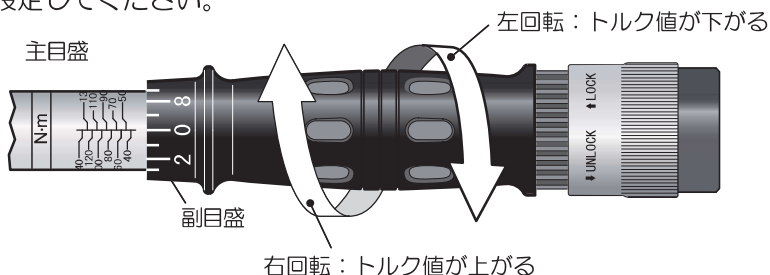
ご使用方法

③ トルクを設定します。

- ロックリングを矢印方向（UNLOCK）へ下げることによりグリップのロックが解除されます。



- グリップが左右に回転します。主目盛と副目盛を使用して希望するトルクに設定してください。



「T4HC140でのトルク設定例」

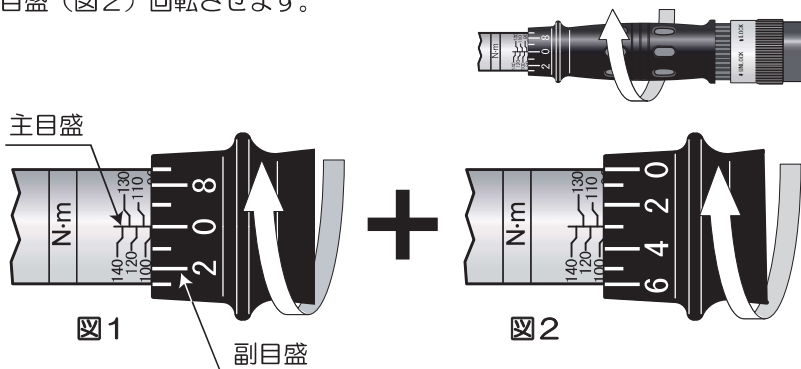
トルクの設定は「主目盛+副目盛」で行います。

副目盛の1目盛は1N・mで、グリップ（副目盛：20等分）が1回転すると主目盛が20N・m増減します。

- 40N・mから103N・mに設定する場合

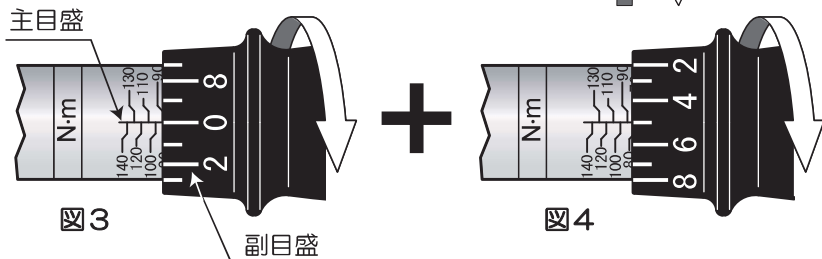
主目盛100N・m + 副目盛3N・m = 設定 103N・m

グリップを「右回転（時計回り）」に3回転させ（図1）、そこから副目盛を3目盛（図2）回転させます。

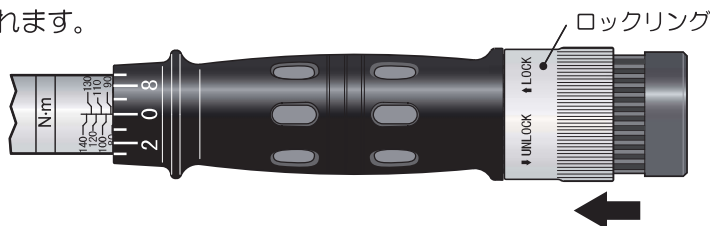


ご使用方法

- 110N・mから85N・mに設定する場合
主目盛80N・m+副目盛5N・m = 設定 85N・m
グリップを「左回転（反時計回り）」に2回転させ（図3）、そこから副目盛を5目盛（図4）回転させます。

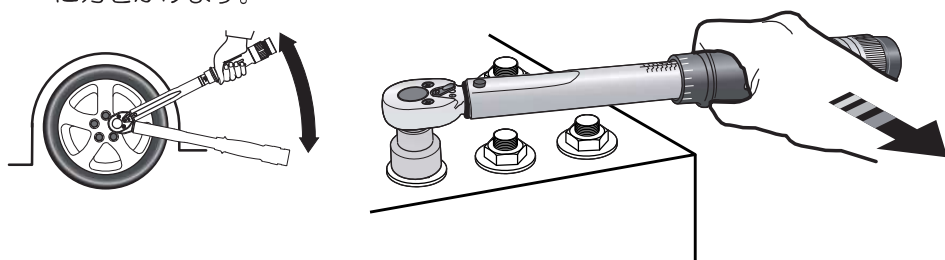


- ロックリングを矢印方向（LOCK）へ上げることによりグリップがロックされます。



これでトルク設定は完了です。

- ④ トルクレンチのグリップの中心を握り、下図のように右回転方向（時計回り）に力をかけます。



⚠ 注意

- 力をかけるときは、ゆっくりと回し、弾みをつけないでください。
正しいトルクが出ません。
トルクレンチの破損、ボルトから外れ、けがの原因になります。

ご使用方法

- ⑤あらかじめ設定したトルク値に達しますと『カチッ』という音または手に軽い『ショック』が感じられ締付けが完了します。それ以上に締付けたり、締付け完了後、繰り返して締付けると設定したトルク以上での締付けになりますので、速やかに負荷を中止してください。

⚠ 注意

- 使用後は能力範囲の最小目盛に戻して保管してください。
精度や耐久性の低下を防ぐために行います。

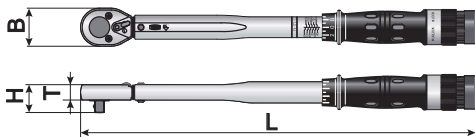
修理・点検

- 『カチッ』という音または『ショック』が感じられなくなったときは故障です。修理・点検が必要となります（有償）。
- 乱暴な取り扱い、長期間放置、使用頻度が多いなどの理由により、精度が狂うときがあります。精度が必要な場合は、定期的に点検依頼してください（有償）。
- トルク機器は定期点検が必要です。目安として5,000回使用毎または、1年に1回定期点検を行ってください。
- 取り扱いについては、ご購入の販売店あるいは弊社営業所にご相談ください。

校正証明書の有効期限

- ① 未使用の場合
校正証明書の校正日より3年までとします。
- ② 校正証明書の校正日より3年未満で使用を開始された場合
使用開始より1年間もしくは、「修理・点検」に記載の締付回数までとします。

仕様



製品番号	能力範囲 最小～最大 N・m	1目盛	差込角 dr. mm	ヘッド幅 B mm	ヘッド高さ H mm	ヘッド厚み T mm	全長 L mm	質量 kg
T3HC30(K)	2～30	0.2	9.5	28.0	23.0	11.3	296	0.70
T4HC140	40～140	1	12.7	47.0	33.0	16.3	533	1.72

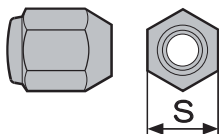
精度：±4%

負荷方向：右回転（時計回り）方向のみ

参考資料

- ホイルナットの六角二面幅寸法と締付けトルクを事前に確認してください。不明な場合はメーカーに問合せの上、作業を行ってください。

ホイールナット

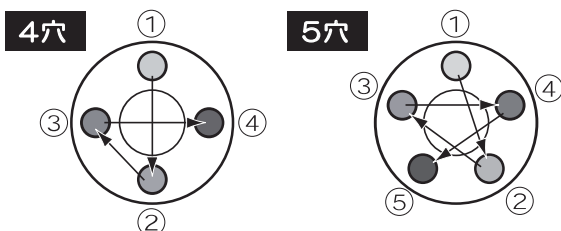


※右記表はあくまでも標準ホイールの値で目安です。特殊ホイールや車種、年式、型式などにより、一部仕様が異なりますので、ご注意ください。

車種	目安 締付けトルク (N・m)	ホイールナット二面幅 S (mm)	
		軽自動車	乗用車
トヨタ車	103	—	21
日産車	98～118	17	21
ホンダ車	98～118	17/19	19
三菱車	88～108	17	21
マツダ車	88～118	17	21
ダイハツ車	98～118	21	21
スバル車	78～98	17	19
スズキ車	70～100	17	19
いすゞ車	88～127	—	19

- ホイルナットの締付け手順はお車のサービスマニュアル又はディーラーの指示に従ってください。本説明書では参考の手順を記載しています。

【ホイールナット締付け手順（参考）】



ホイールナットは仮締めを行い、その後メーカーの指示トルクでトルクレンチにて締付けてください。

●予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。
変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。

●Specifications may be changed without notice.
Modification of instruction manual will be substituted for the notice.

TONE **TONE株式会社**

〒586-0026 大阪府河内長野市寿町6番25号
TEL (0721) 56-1850 FAX (0721) 56-1851

Web Site: <https://www.tonetool.co.jp>
e-mail: ko-eigy@tonetool.co.jp



TONE **TONE CO., LTD.**

6-25, KOTOBUKI-CHO, KAWACHINAGANO-SHI, OSAKA 586-0026, JAPAN

Web Site: <https://www.tonetool.co.jp>
e-mail: overseas@tonetool.co.jp

